

環境フェスティバルふくおか2023

実施報告書

annoncé
株式会社アノンセ



開催概要	P3
啓発イベント ①ソラリアゼファ/コンセプトエリア	P4~P7
啓発イベント ①ソラリアゼファ/協賛企業エリア	P8
啓発イベント ①ソラリアゼファ/ミニワークショップエリア	P9
啓発イベント ①ソラリアゼファ/ステージイベント	P10~P11
啓発イベント ②警固公園 次世代自動車展示エリア/食品ロス及び環境美化に関する啓発エリア	P12
啓発イベント ②警固公園 こども夢の商店街エリア	P13
啓発イベント ③ライオン広場 アジア太平洋都市サミットPRイベント	P14
体験イベント 開催概要	P15
体験イベント 各ツアー詳細	P16~P20
体験イベント 各ワークショップ詳細	P21
広報	P22
制作物一覧	P23
ソラリアゼファ図面	P24
コンセプトエリア平面・立面図	P25
協賛企業エリア平面・立面図	P26
アンケート(1)	P27
アンケート(2)子ども向け	P28~P30
アンケート(2)大人向け	P31~P33
フォローアップアンケート	P34~P26

1.開催目的

環境に関する意識の喚起と具体的行動の理解を深めるため、市民、事業者、学校、行政の共働により環境イベントを実施し、環境保全行動の実践と継続につなげます。また、市民団体などの活動発表や互いの活動の情報交換の場として活用され、環境保全活動の環を広げます。

2.ターゲット

子ども(幼児・小～中学生)とその保護者
今年こそ環境に優しいライフスタイルを始めたい方

3.テーマ

☑脱炭素社会の実現 ☑プラスチックごみの削減 ☑生物多様性の保全

4.啓発イベント

ソラリアゼファをメイン会場としテーマに沿った情報発信など啓発イベントを実施

☑日程:2023年10月7日(土)

☑時間:10時00分～18時00分

☑会場:ソラリアゼファ・警固公園・ライオン広場

☑内容:ステージイベント・ミニワークショップほか

①ソラリアゼファ

●コンセプトエリア(計6社・団体)

NPO法人循環生活研究所/NPO法人博多ミツバチプロジェクト/株式会社OSGコーポレーション/
株式会社オーレックホールディングス/九州大学流域システム工学研究室・日本工営株式会社・公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)・一般社団法人九州オープンユニバーシティ/
国際航業株式会社

●協賛企業エリア(計6社・団体)

イオン九州株式会社/エフコープ生活協同組合/花王グループカスタマーマーケティング株式会社/
株式会社NTTドコモ九州支社/株式会社福岡銀行/公益財団法人自動車リサイクル促進センター

●ミニワークショップエリア(計8社・団体)

NPO法人ふくおか湿地保全研究会/環境たくみの会/西部3Rステーション/背振少年自然の家/低炭素社会推進福岡協議会(LCFC)/福岡工業大学環境学生組織えこFIT/福岡市地球温暖化対策市民協議会(西日本新聞社ともふれあい本部)/福岡市地球温暖化対策市民協議会(パナソニック株式会社エレクトリックワークス社)

②警固公園

次世代自動車展示エリア(福岡市地球温暖化対策市民協議会)
食品ロス対策及び環境美化に関する啓発エリア(福岡市環境局ごみ減量推進課)
こども夢の商店街エリア(西日本鉄道株式会社)

③ライオン広場

アジア太平洋都市サミットPRイベント(福岡市総務企画局国際政策課)

5.体験イベント

左記会場以外の場所でツアーやワークショップなど体験型イベントを実施

☑日程:2023年10月7・8・14・28・29日

☑時間:各ツアー・ワークショップ毎

☑会場:各ツアー・ワークショップ毎

☑内容:自然体験・農業体験・工場見学・清掃活動・ものづくり体験ほか

☑協力団体・企業一覧

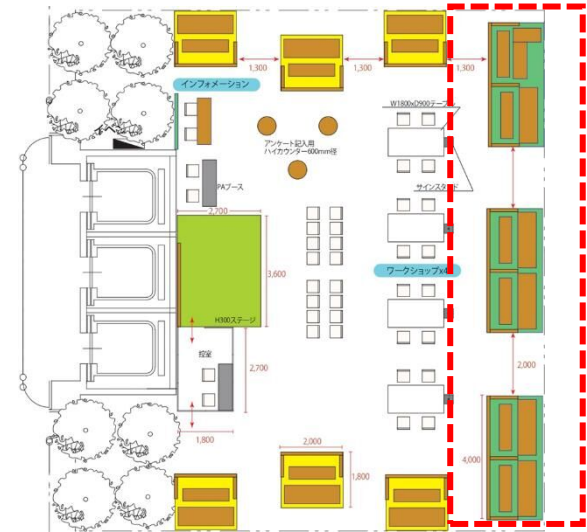
ABURAYAMA FUKUOKA/NPO法人循環生活研究所/NPO法人博多ミツバチプロジェクト/花王グループカスタマーマーケティング株式会社/株式会社セブンイレブン・ジャパン/九州電力株式会社/九州三菱自動車販売株式会社/九電みらいエナジー株式会社/公益社団法人福岡県産業資源循環協会福岡支部/Seeds of energy有限責任事業組合/全国アマモサミット2023inふくおか実行委員会・海の中道青少年海の家・海の中道マリーナ&テニス/大和ハウス工業株式会社九州支社/福岡市科学館/臨海3Rステーション(計14社・団体)

6.協賛企業

イオン九州株式会社/エフコープ生活協同組合/花王グループカスタマーマーケティング株式会社/株式会社NTTドコモ九州支社/株式会社西日本シティ銀行/株式会社福岡銀行/株式会社福岡クリーンエナジー/九州電力株式会社/公益財団法人自動車リサイクル促進センター/公益財団法人ふくおか環境財団/公益社団法人福岡県産業資源循環協会福岡支部/西部ガス株式会社/大和ハウス工業株式会社九州支社/福岡市地球温暖化対策市民協議会/マイナビ ツール・ド・九州2023(計15社・団体)



イベントの3大テーマに沿ったコンセプトエリアでは見て触れて体験しながら楽しく学べるブースを展開。各テーマについてわかりやすく解説するパネルをブース背面に設置。会場へ入った参加者の目に入る場所に設置することで各テーマに対する気づきや生活に取り入れるヒントへの理解を深めた。



コンセプトエリア

コンセプトエリアの背面(会場側)にパネルを設置。会場内のどこからでも目に入るため、立ち止まって内容について親子で話す姿なども見られた。

啓発パネル一覧

<p>「脱炭素社会」ってなに？</p> <p>私たちの便利な生活は地球温暖化の原因であるCO₂の排出量を増やしています。CO₂の排出量を減らすためには、省エネに取り組むことや、CO₂を吸収する森林などを健全にするなどが大切です。こういった取り組みを進め、安全で便利な暮らしを維持・発展できる社会を「脱炭素社会」といいます。</p> <p>また、省エネや再生可能エネルギーを活用することで、二酸化炭素の削減だけでなく、自然の力を活用することで排出量を減らします。</p> <p>排出量＜吸収量</p> <p>実質ゼロ カーボンニュートラル</p>	<p>脱炭素社会の実現に向けてわたしたちにできること</p> <p>まま目も開閉を 開けずに入る</p> <p>移動の際は歩 もしくは自転車 や公共交通機関 を使う</p> <p>室内に太陽光を 取り入れ 暖かい電気は 節電</p> <p>ほかにも… エコマークなどの環境ラベルがついた商品を選ぶ 宅配サービスを1回で受け取る 省エネ家電に買い替える いま持っている家電も長く大切に使う</p>	<p>「プラスチックごみ」は何が問題？</p> <p>プラスチックごみが雨や風によって河川・川に入り海に流れ出ると、清掃活動では回収されない場所まで流れ着き海の環境を汚したり、5mm以下の小さな「マイクロプラスチック」となり海の生き物がエサと間違えて食べてしまうことで生態系を破壊してしまいます。</p> <p>2050年までに2050万トン以上のマイクロプラスチックが海洋に漂うと推定されています。</p> <p>ほかにも… スーパーなどで食品小分け用のポリ袋の使用を減らす 再生プラスチック製品を使用する 食品の保存はふた付き容器を使い、できるだけラップは使用しない 海外へ出たごみ袋も持ち帰って処分する</p>	<p>プラスチックごみの削減に向けてわたしたちにできること</p> <p>マイボトル、マイボトルを持ち歩く</p> <p>詰め替えるボトルなど 繰り返し 使えるもの を選ぶ</p> <p>使用済みトレイは 捨てずに 回収ボックスに 持ち込む</p> <p>レジ袋や 使い捨て スプーンは 持ち込まない</p>	<p>「生物多様性」ってなに？</p> <p>たくさんの種類の生き物が複雑につながりながら様々な環境に合わせて生活していることを、生物多様性と呼びます。食べ物やエネルギー、様々な製品の原料など、生活に欠かすことのできないものすべてが生物多様性をもたらす自然の恵みです。</p> <p>ほかにも… ペットは最後まで責任をもって飼育 自然のすばらしさを感じて家族や友達に伝える 野生生物にエサをあげない 地球温暖化防止に貢献する行動をとる</p>	<p>生物多様性の保全に向けてわたしたちにできること</p> <p>地元で採れた食材を食べ 旬の食材を食べる</p> <p>動物園、水族館などを訪ね 自然や生き物に 触れる</p> <p>エコラベルなどがついた 環境にやさしい 商品を選ぶ</p> <p>生き物の観察会などの 活動に参加する</p>
--	--	---	---	--	--

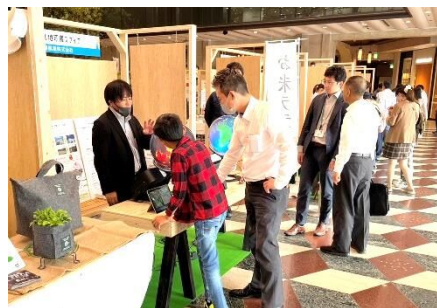
各テーマ毎に「解説」と「生活のヒント」を掲載。暮らしの中で取り入れやすい環境保全行動の啓発に一翼を担った。

テーマ① 脱炭素社会の実現

☑デジタル地球儀スフィア

協力:国際航業株式会社

内容:デジタル地球儀で見る未来の地球の体験ほか



科学的知見や統計からのデータに基づき、気象・海流・海水温・大陸移動など地球上で起こっている現象や環境変化を動的に且つリアルタイムに映し出すデジタル地球儀「スフィア」。会場ではデータに基づき、今後の温暖化などの影響による地球の変化を「見える化」することで、参加者に脱炭素社会の重要性を実感してもらうことができた。

☑コンポストで循環生活

協力:NPO法人循環生活研究所

内容:コンポスト生活の紹介や堆肥回収など



家庭からできるごみの減量と資源化を目指し、生ごみを堆肥に変えるコンポスト。ごみの量が減らせるだけでなく花壇や野菜の肥料にもなるコンポストの利用を促進し、循環型生活を促すため、家庭で簡単に始められるおしゃれで便利なバッグ型コンポストや、やり方などを紹介。参加者からは「手軽に出来そう!」と好評だった。

テーマ② プラスチックごみの削減

☑海洋プラスチックごみ体験

協力:株式会社OSGコーポレーション
内容:プラ干狩り体験



プラスチックごみの現状を実感してもらうため、実際の海岸に流入していたプラスチックごみを利用して砂の中からプラごみを網ですくうプラ干狩り体験を実施。プラスチックが自然に及ぼす影響や、プラごみによる海洋汚染被害の実情などを紹介した。「細かいプラごみが砂の中にこんなに隠れてるとは思わなかった」と驚きの声が上がっていた。

☑草ストローでSGDs

協力:株式会社オーレックホールディングス
内容:草ストローを使ったお米ラテの試飲や販売など



完全自然由来の草ストローを使って、ヴィーガンドリンクでもあるライスマルクを使った「お米ラテ」の無料試飲を実施。使用後の草ストローは提携先である福岡市動物園でペンギンの厩舎の寝床に使用される。「想像していたより飲み口がよい」「植物性ミルクは初めてだけど、おいしい」と大好評。プラごみ削減を気軽に取り入れられると草ストローの売れ行きも好調だった。

テーマ③ 生物多様性の保全

福岡・有明の大切な水辺の生き物、 そのリアルと3Dバーチャル

協力:九州大学流域システム工学研究室ほか
内容:3Dデジタル生物標本の体験と生き物の展示



魚や昆虫などをリアルな画像で立体的に観察できる3Dデジタル生物標本。今回は福岡市近郊の魚や生き物を中心に約140点を展示。精密な標本はまるで生きているようだ大好評だった。隣の水槽には本物のカエルと魚も展示され、参加者はカエルを手に乗せたりしながら楽しんだ。生物多様性保全の大切さについて大人も子どもも改めて学ぶことができた。

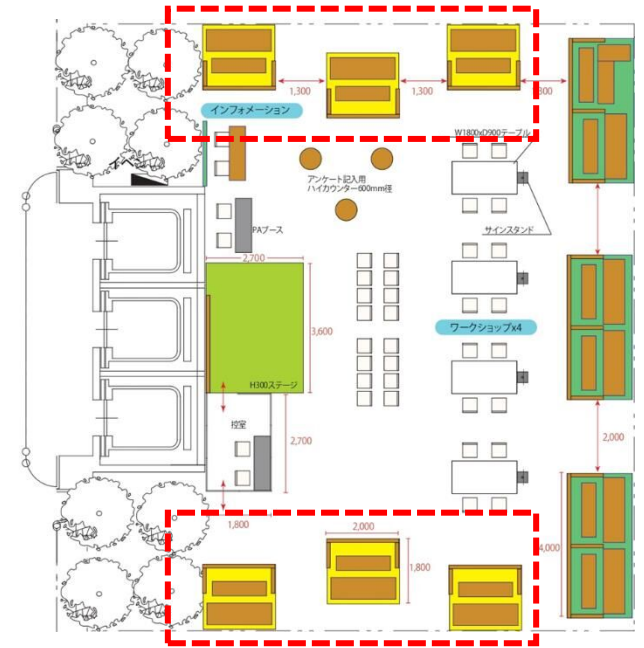
日本ミツバチと環境保全

協力:NPO法人博多ミツバチプロジェクト
内容:採れたてはちみつの試食や販売・日本ミツバチの紹介ほか



地球温暖化や農薬などによって急激に減少している日本ミツバチ。その保全活動を行いながら、環境教育を実施しているNPO法人博多ミツバチプロジェクトが、自身の養蜂場で収穫したはちみつの試食会を実施。ブースでは巣箱から直接スプーンではちみつをすくい、試食を行った。環境指標の一つともいわれるミツバチの生態や都市養蜂の大切さを学べるブースとなった。

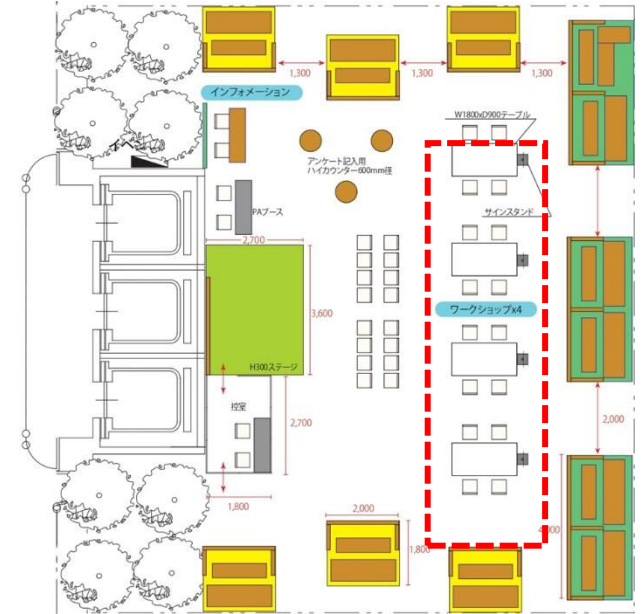
各企業・団体が「体験型」のブースを展開。環境に関するクイズやパネルの展示、タブレットを使用した「リサイクルタウン」の体験や自然由来の絵の具・和紙を使った塗り絵体験などを実施。どのブースも親子連れなどでにぎわっていた。



協賛企業エリア出展一覧 参加者総数1363名

イオン九州株式会社	サステナブル商品についている「認証マーク」や「ブランドロゴ」をクイズにして紹介。
エコーブ生活協同組合	環境に関するクイズや冊子の配布・環境に関するパネルの展示
花王グループカスタマーマーケティング株式会社	4R(3R+1R)の各項目についての花王の取り組みを紹介、ゴミ削減について考えるキットを使用した環境啓発
株式会社NTTドコモ九州支社	ドコモが行う環境への取り組みクイズやパネル展示・環境活動シール貼りをういた市民参加型のアート作品制作
株式会社福岡銀行	自然の石を原料とした岩絵具(いわえのぐ)を使用した塗り絵体験
公益財団法人自動車リサイクル促進センター	自動車リサイクルの取り組みとその成果を学ぶことができるパネル等の展示や学習サイト「リサイクルタウン」の体験

テーマに沿ったミニワークショップを開催。ワークショップを通じて楽しみながら環境保全への理解を深めることができた。マイクロプラスチックを使った万華鏡作りや新聞紙エコバッグ作り、端材を使ったアクセサリ作りなど、モノづくり体験やゲームイベントで終日たくさんの親子連れが参加していた。



☑ミニワークショップエリア出展一覧 参加者総数299名

- | | |
|---|---|
| NPO法人ふくおか湿地保全研究会 | 「生きもの達の可愛い缶バッジを作ろう！」福岡で見られる生き物や植物の写真・イラストを使った缶バッジ作り |
| 環境たくみの会 | 「新聞紙のエコバック作り」英字新聞を使ったエコバック作り |
| 西部3Rステーション | 「マイクロプラスチックを使って万華鏡をつくろう！」端切れやマイクロプラスチックを使った万華鏡作り |
| 背振少年自然の家 | 「端材を使おう！木のアクセサリづくり」木材をカットした際に出る木の切れ端を使ったアクセサリ作り |
| 低炭素社会推進福岡協議会(LCFC) | 「楽しく学ぶ「エコすごろく」でエコグッズもGET！」すごろくを使った地球温暖化についてのクイズゲーム |
| 福岡工業大学環境学生組織 えこFIT | 「Tシャツでじぶんだけのエコバックをつくろう」着なくなったTシャツを使ったエコバック作り |
| 福岡市地球温暖化対策市民協議会
(西日本新聞社子どもふれあい本部) | 「10分でできるしまんと新聞ばつぐを作ってみよう」新聞紙とでんぱんのりだけを使ったエコバック作り |
| 福岡市地球温暖化対策市民協議会
(パナソニック株式会社エレクトリックワークス社) | 「えこちゃんと学ぶ発電～ミニチュア電車を走らせてみよう～」自分で発電した電気を使ってミニ電車の走行体験 |

ステージも①脱炭素社会の実現 ②プラスチックごみの削減 ③生物多様性の保全の3つテーマに沿って展開。それぞれのテーマについて改めて考える機会を与えながら、大人から子どもまで幅広い世代に楽しんでもらえるステージ内容となった。

そのプラスチックどうする？あなたの一步が海を元気に！

- ☑内容 博多湾の環境についてのトークショー
- ☑登壇者 一般社団法人ふくおかFUN 代表理事
全国アマモサミット2023 inふくおか
実行委員会 委員長 大神 弘太郎氏
- ☑時間 10時30分～11時00分

ステージの途中では活動拠点の一つである海の中道青少年海の家の北海岸と中継をつなぐなど、海洋汚染問題について臨場感あふれるステージを展開した。



おしえて鹿野先生！福岡に棲む水と水辺の生きものたち

- ☑内容 3Dデジタル生物標本や福岡市近郊の生物に関するトークショー
- ☑登壇者 九州大学流域システム工学研究室 准教授 鹿野 雄一氏
- ☑時間 12時00分～12時30分

鹿野先生による水辺の生き物たちの解説に、会場の観客も大きくうなづく場面がみられた。生物の知られざる性質や生態系を守るために必要な行動など、貴重なお話を聞くことができた。



らんま先生のeco実験パフォーマンス

- ☑内容 環境をテーマとした科学実験パフォーマンス
- ☑登壇者 らんま先生
- ☑時間 13時00分～14時00分

観客を巻き込む大迫力のステージに、子どもだけでなく大人も大満足のパフォーマンスとなった。水を張ったビーカーを海に例えたりと、科学実験や自然の摂理にちなんだパフォーマンスを交えながら、今起きている環境問題などについてわかりやすく目に見える形で解説している場面が印象的だった。



トークショー-日本ミツバチから見える世界

- ☑内容 日本ミツバチの役割や環境保全・都市環境についてのトークショー
- ☑登壇者 NPO法人博多ミツバチプロジェクト 代表理事 吉田 倫子氏
(有)チョコレートショップ 代表取締役 佐野 隆 氏
西日本鉄道株式会社 広報・CS推進部 広報課長 蔵田 隆秀氏
久留米大学附設中学校 石田 美咲さん
- ☑時間 14時30分～15時00分

それぞれ視点からトークが展開される中、中学生である美咲さんのミツバチを題材とした論文について、他の出演者も圧倒される場面が印象的だった。



クイズで学ぼう!

宇宙から身近なところまで科学部員の環境活動報告

- ☑内容 科学部員の活動報告
- ☑登壇者 福岡工業大学附属 城東高等学校 生徒 10名
- ☑時間 15時30分～16時00分

それぞれの部員たちが自分たちの得意分野についてスライドを使って分かりやすく説明したり、子どもたちにクイズを出題したりと、観客参加型の楽しいステージとなった。様々なコンテストで入賞経験のある科学部のステージは、単なる活動報告の域を超え完成度の高いパフォーマンスだった。



その他団体PR(各団体とも15分)

11:00～11:15

イオン九州株式会社

12:30～12:45

低炭素社会推進福岡協議会(LCFC)

14:00～14:15

株式会社NTTドコモ九州支社

16:00～16:15

エフコープ生活協同組合



次世代自動車展示エリア

環境負荷が少ない電気自動車・プラグインハイブリッド自動車などの次世代自動車に関し、環境面や経済面などを含めた長所や利便性について実車両を展示するとともにパネルなどで市民への普及啓発を行った。

- ☑内 容 次世代自動車の展示とPR
- ☑時 間 10時00分～18時00分
- ☑出展企業 日産福岡販売株式会社／KMGホールディングス株式会社
- ☑担 当 福岡市地球温暖化対策市民協議会
- ☑見学者数 2027名



今回は試乗を行うことはできなかったが、イベントに参加しているだけでなく、通行している方も足を止めて車両を見たり、説明を受けたりしている場面が多く見られた。環境にやさしいだけでなく、安全面でも高い技術が搭載されている車両に、小さなお子様連れのご家族や、ご年配の方も熱心に話を聞く姿があった。次世代自動車への関心の高さが伺えた。

食品ロス対策及び環境美化に関する啓発エリア

地域の福祉団体や子ども食堂などの施設へ無償提供するため、賞味期限内の食品・食材を回収するフードドライブ活動を「特定非営利活動法人フードバンク福岡」とともに実施。また様々な企業や団体、来場者の皆様とともに公園周辺の清掃活動を行った。

- ☑内 容 フードドライブ活動／環境美化活動
- ☑時 間 10時00分～16時00分
※環境美化活動は13時00分～14時30分
- ☑担 当 福岡市環境局ごみ減量推進課
- ☑参加者数 フードドライブ活動107名・環境美化活動138名



環境美化活動には小さなお子様からご年配の方まで、幅広い世代の参加者が多数参加していた。アンケート回答の中でも、ごみ拾いイベントを定期的に行ってほしいなど、高い関心がうかがえるコメントも多かった。フードドライブ活動は市民の中でもかなり周知されてきており、たくさんの人が寄付に訪れていた。道行く人も看板など見て活動内容に興味をもって来ていたようだった。

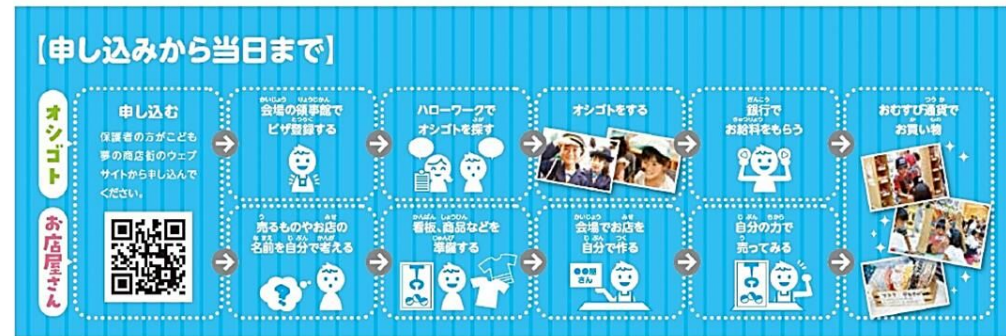


こども夢の商店街

創意工夫して取り組む「お店屋さん」と、銀行や警察などのこども夢の商店街の運営に携わる「オシゴト」に挑戦することで、こどもたちが働くことの面白さと難しさを学ぶことができるキャリア教育イベントを実施。参加者はイベントを通じて、アップサイクルやごみ削減、循環型社会の実現、海や陸の生態系の保全など、SDGsの取り組みや環境保全の大切さを学んだ。



- ☑開催時間 午前の部:10:40~13:00(最終オシゴト開始時刻:12:40)
午後の部:14:00~16:20(最終オシゴト開始時刻:16:00)
- ☑開催場所 警固公園
- ☑参加対象 小学生
- ☑参加方法 事前申し込み制(一部当日参加可能)
- ☑運営管理 一般社団法人ユメ・フルサト
- ☑協力 西日本鉄道株式会社
- ☑参加者数 460名



事前申し込みで「お店屋さん」として参加していた子どもたちは、手作りのポップや布などの装飾品を使って、それぞれ工夫を凝らしながら個性あふれる店作りを楽しんでいた。午前の部が始まると、「いらっしゃいませ！」と大きな声で呼び込みをしたり、自分たちの店の特徴を説明したりと、大人顔負けの接客を行っていたことが印象的だった。「オシゴト」として参加していた子どもたちは、各ブースがルールを守って営業をしているか見回る「警察」や、各ブースを回りながら実況中継を行う「リポーター」など、それぞれの職業に熱心に取り組んでいた。大人たちは一切手を出せないのがこのイベントの最大の特徴であることから、子どもたちはそれぞれの立場で考え、行動するという姿が多く見られた。特に「お店屋さん」では自宅で使わなくなったおもちゃや、端切れで作ったアクセサリーなどを販売し、アップサイクルやごみの削減といった循環型社会の実現に向け、実体験の中から多くを学んでいる様子だった。

アジア太平洋都市サミットPRイベント

「環境フェスティバルふくおか2023」内のイベントとしてアジア太平洋都市サミットのPRイベントを開催。福岡市の国際的な取り組みの紹介や、市民のSDGsの普及を促進するためのワークショップほか、フェアトレードコーヒーやお茶の無料配布等を行った。

- ☑場 所 三越ライオン広場
 - ☑時 間 10:00~18:00
 - ☑内 容
 - ①アジア太平洋都市サミットの紹介
 - ②世界ハビタット・デー記念絵画コンクール受賞作品の展示
 - ③ワークショップ(参加費無料)
 - ハビタット・デークイズ大会
 - タッチゲームで海の豊かさを守ろう！
 - ④フェアトレードコーヒー・お茶の提供サービス
 - ⑤SDGsすごろくの配布
 - ⑥回遊型クイズラリーイベント
- 各会場(ソラリアゼファ・警固公園・ライオン広場)に設置してあるクイズに回答すると、ステーションリーセットをプレゼント

☑参加者数 1120名

ワークショップ 42名/クイズラリー177名

☑配 布 数 フェアトレードコーヒー340杯/麦茶207杯

環境フェスティバルふくおか2023の一環で参加していただいた方以外にも、通りすがりで足を止め、参加してくださった方も多くいらっしゃった。ワークショップは子ども向けの内容だったが、クイズラリーやパネル展示などには年配の方も積極的に参加していただいた。様々なコンテンツがあり、幅広い年代の方に興味関心をもってもらうことができた。



SDGsすごろく



クイズラリーノベルティ

企業や団体にご協力いただき、子どもや親子向けだけではなく、大人も楽しみながら学べる様々な体験型イベントを実施。10個のツアーと3個のワークショップを約1か月間かけて開催し、参加者は様々なツアー・ワークショップを楽しんだ。

- ☑日 程 10月7日(土)、8日(日)、14日(土)、28日(土)、29日(日)
- ☑応 募 事前申し込み制(専用HP又ははがき・ファックス)
- ☑参 加 費 無料
- ☑参 加 資 格 福岡市内在住
- ☑専 用 H P <https://kankyo-fukuoka2023.com/>
- ☑ツ ア ー 数 ツアー10個・ワークショップ3個
- ☑申し込み数 1016名
- ☑参加者数 322名



ツアー・ワークショップ申し込み専用HP

水素バスやバイオ燃料使用のバスでのツアー送迎を実施

バスツアーでは水素バスや次世代バイオ燃料「サステオ」を使用したバスで送迎を行った。参加者が乗車前に写真を撮ったり、水素燃料やバイオ燃料について親子で会話する場面なども多くみられた。



福岡市水素バス「Moving e」



バイオディーゼルの燃料「サステオ」を使用した西鉄バス

T01 10/07(土) 生ごみ堆肥の野菜づくり体験ツアー

バスツアー

生ごみの栄養を循環する堆肥づくりや、サツマイモの収穫・野菜の手入れなどの体験を通じて、「循環する暮らし」について学びます。

募集人員：一般20名
※福岡市内在住
※中学生以下のお子様は保護者同伴必須

実施時間：10時00分～12時00分

実施場所：福岡コミュニティガーデン
福岡市東区香椎照葉1丁目4

持参物など：帽子・水筒・軍手持参
服装：汚れても良い服装、運動靴
協力：NPO法人循環生活研究所

当日スケジュール

09:15 福岡市役所集合・出発
～バスで移動～

10:00 福岡コミュニティガーデン・到着

- ①生ごみ堆肥づくり体験
- ②サツマイモ掘り体験
- ③野菜の手入れ体験

12:00 福岡コミュニティガーデン・出発
～バスで移動～

12:30 福岡市役所到着・解散

注意事項

- ・少雨決行、雨天中止となります。
- ・収穫体験で買ったサツマイモのお持ち帰りは有償となります。(1kg500円)

各ツアー詳細ページ

T01 生ごみ堆肥の野菜づくり体験ツアー

生ごみの栄養を循環する堆肥づくりや、サツマイモの収穫・野菜の手入れなどの体験を通じて、「循環する暮らし」について学びました。

- ☑募集人員 一般20名 ※中学3年生以下は保護者同伴必須
- ☑実施日時 2023年10月7日(土) 10時00分～12時00分
- ☑実施場所 照葉コミュニティガーデン(福岡市東区香椎照葉)
- ☑参加者数 子ども9名/大人8名 計17名
- ☑協力 NPO法人循環生活研究所

☑当日スケジュール

- 09:15 福岡市役所集合・出発～バスで移動～
- 10:00 照葉コミュニティガーデン・到着
①生ごみ堆肥づくり体験 ②サツマイモ掘り体験
③野菜の手入れ体験
- 12:00 照葉コミュニティガーデン・出発～バスで移動～
- 12:30 福岡市役所到着・解散

バスツアー



生ごみが貴重な資源であることやコンポストの仕組みについて、分かりやすい説明を受けた後に、コンポスト肥料で育てた芋を親子で楽しそうに掘っていた。無農薬であるため幼虫が出てくることもあり、悲鳴と歓声があがっていた。さらに、収穫後の葉やつるを肥料にする作業や別の野菜の植え付けを行い、自然の循環の大切さを親子で学ぶ貴重な体験になった。

T02 クリーンパーク・臨海ごみ処理施設見学ツアー

清掃工場の見学と、3Rステーションのものづくり講座が体験できるツアー。普段なかなか見る事のできないごみ処理の仕組みやリサイクルについて学びました。

- ☑募集人員 小学3～6年生とその保護者 各回10組20名
- ☑実施日時 2023年10月7日(土) ①10時00分～12時00分 ②14時00分～16時00分
- ☑実施場所 クリーンパーク・臨海(福岡市東区箱崎)
- ☑参加者数 午前:子ども9名/おとな9名 午後:子ども7名/大人7名 計32名
- ☑協力 臨海3Rステーション

☑当日スケジュール(午前スケジュール)

- 09:30 福岡市役所集合・出発～バスで移動～
- 10:00 クリーンパーク・臨海・到着
- 12:00 ①施設内の見学(ごみ処理の仕組み) ②ものづくり講座
(ごみのリサイクル豆知識/ヒノキ端材でマイ箸作り)
- 12:30 クリーンパーク・臨海・出発～バスで移動～
- 12:30 福岡市役所到着・解散

バスツアー



施設見学では、特に通常では体験することができない特別ルートを通ってのツアーが参加者に好評で、子どもも大人も満足度の高い内容であった。ごみを搬入してピットに捨てる様子や、ごみを掴むクレーンを間近で見たり、試験室の設備など、保護者を含めて興味を持っていただいた様子だった。

T03 植物はかせと歩く 秋の自然観察ツアー

植物博士の福岡市科学館・矢原徹一館長と一緒に、身近な公園の自然観察をしながら、生きものの多様性についてみんなで考えました。

- ☑募集人員 小学4～と中学3年生とその保護者 10組20名
- ☑実施日時 2023年10月7日(土) 10時00分～12時00分
- ☑実施場所 大濠公園・舞鶴公園
- ☑参加者数 子ども8名/大人8名 計16名
- ☑協力 福岡市科学館

☑当日スケジュール

- 09:45 福岡市美術館・集合
- 10:00 福岡市美術館・レクチャールームで福岡市科学館 矢原徹一館長のお話
- 10:30 福岡市美術館出発
大濠公園や舞鶴公園を散策
- 12:00 福岡市美術館到着・解散

T04 白糸の滝小水力発電所体験ツアー

自然いっぱいの白糸の滝にある小水力発電所を見学し、「小水力発電って、なに？」「どうやって発電するの？」など水力発電の仕組みについて学びました。

- ☑募集人員 小学4～6年生とその保護者 10組20名
- ☑実施日時 2023年10月8日(日) 10時00分～12時00分
- ☑実施場所 小水力発電所/白糸の滝ふれあいの里(福岡県糸島市白糸)
- ☑参加者数 子ども8名/大人8名 計16名
- ☑協力 Seeds of energy 有限責任事業組合

☑当日スケジュール

- 08:45 福岡市役所集合・出発～バスで移動～
- 10:00 小水力発電所・到着
小水力発電に関する学習会と見学
白糸の滝ふれあいの里で自由行動
- 12:00 白糸の滝ふれあいの里・出発～バスで移動～
伊都菜彩にて自由行動～バスで移動～
- 13:15 福岡市役所到着・解散

バスツアー



在来種のタンポポと西洋タンポポ、その交雑種が定期的に草刈りをするかしないかで、分布にどんな違いがあるかや、木の種類ごとの葉の形や動物と共生する姿から分かる植物が自然界を生き抜く方法など、道中に植生している身近な植物種について、解説を加えながら大濠公園・舞鶴公園内を散策。子どもだけでなく保護者も活発に質問するなど盛況だった。参加者からは「少し知識があるだけで何気ない風景が大きく変わることを実感した。」との声も上がっていた。



白糸公民館にて、「小水力発電とは何か」を簡単に説明した後、学習した内容をクイズ形式でおさらいするなど、子どもたちも楽しみながら考える様子が伺えた。その後移動し実際に小水力発電所を見学。初めて目にする小水力発電機に子どもも大人も目を奪われた様子だった。バスで白糸の滝まで行き、降雨によってわずかな時間ではあったが、写真を撮るなど自然を満喫していた。

T05 日本ミツバチの「博多ハニー」採蜜体験ツアー

福岡の街中で実際に巣箱を見学し、採れたてはちみつの試食会も開催。ミツバチの生態や生態系での役割など、環境保全の大切さを学びました。

- ☑募集人員 小学1年生以上 15名 ※中学生以下は保護者同伴必須
- ☑実施日時 2023年10月14日(土) 11時00分～12時00分
- ☑実施場所 NPO法人博多ミツバチプロジェクト養蜂場(福岡市博多区住吉)
- ☑参加者数 計14名
- ☑協力 NPO法人博多ミツバチプロジェクト

☑当日スケジュール

- 11:00 博多ミツバチプロジェクト養蜂場・集合
 - ①ミツバチの生態と蜜源植物の解説
 - ②巣箱の見学
 - ③採蜜会・・・実際の巣箱からはちみつを採取
 - ④採れたてはちみつの試食
- 12:00 博多ミツバチプロジェクト養蜂場・解散

T06 カッター教室・アマモ場づくり体験ツアー

博多湾でのオールを使ったカッターボート教室やビーチクリーンアップ活動などを通じて、海の楽しさと海洋環境の大切さを学びました。

- ☑募集人員 小学5～中学3年生とその保護者 20組40名
- ☑実施日時 2023年10月14日(土) 10時00分～16時00分
- ☑実施場所 海の中道青少年海の家 / 海の中道マリーナ&テニス(福岡市東区西戸崎/大岳)
- ☑参加者数 子ども19名/大人19名 計38名
- ☑協力 全国アマモサミット2023inふくおか実行委員会

☑当日スケジュール

- 09:00 福岡市役所集合・出発 ～バスで移動～
- 10:00 海の中道マリーナ&テニス・到着
 - ①開会式 ②カッター教室体験
 - ③ビーチクリーンアップ活動 ④アマモ投入活動
- 16:00 閉会式～バスで移動～
- 17:00 福岡市役所到着・解散

バスツアー



飛び交うミツバチに、最初は少し緊張しているような様子もあったが、おとなしい性質のハチであることの説明を受けてからは、真近で見る日本ミツバチに興味深々の様子だった。ハチが生態系に対して重要な役割を持っていることを聞いた後、少し弱ったハチをそっと手に乗せて巣箱に戻す様子などもあった。巣箱から直接スプーンですくって食べるはちみつの味に感動し何度も列に並ぶ姿も見られ、参加者一同大満足の様子だった。



みんなで力を合わせて櫂(かい)を漕ぎカッターボートを動かすことで協力することの大切さを学ぶとともに、博多湾の自然を全身で感じる事ができた。午後は海岸のごみ拾いを行ったあと、アマモの生態や藻場の調査結果などのお話を伺いアマモをとおして海の環境保全について理解を深める事ができた。参加者から「親子で参加することで環境について話あえるきっかけとなった」「今まで砂浜のプラごみに目をふさいでいた自分を反省した」などの声も聞かれた。

T07 エコアス株式会社工場見学ツアー

産業廃棄物が肥料になるまでの工程の一部を、実験を交えて体験したり、顕微鏡を使った微生物の観察などを通じてリサイクルについて学びました。

- ☑募集人員 小学1～6年生とその保護者 10組20名
- ☑実施日時 2023年10月14日(土) 10時00分～12時00分
- ☑実施場所 エコアス株式会社リサイクル処分場(福岡市博多区西月隈)
- ☑参加者数 子ども9名/大人9名 計18名
- ☑協力 公益社団法人 福岡県産業資源循環協会

☑当日スケジュール

- 09:30 福岡市役所集合・出発 ～バスで移動～
- 10:00 エコアス株式会社リサイクル処分場到着
- ①リサイクル工場見学 ②微生物のはたらきなどのお話や顕微鏡での観察
- ③薬品を使って汚水をきれいにする実験④リサイクルについてのワーク
- 12:00 エコアス株式会社リサイクル処分場出発～バスで移動～
- 12:30 福岡市役所到着・解散

バスツアー



レストランなどから出される産業排水を、川に流せるくらいのきれいな水と、堆肥にリサイクルする様子を見学した。処理の様子を順を追って説明してもらい、リサイクルまでの流れを勉強した。その後顕微鏡で排水をきれいにするために必要な微生物を観察したり、実際の機械を見たりして、子どもたちが純粋に楽しむ様子が見られた。少し難しい内容だったが、とても丁寧に説明をしていただいたので低学年の子も理解できたようだった。ツアー中積極的に質問する姿も多く見受けられた。

T08 セブン-イレブンこども店員体験教室

店舗で使用しているレジを利用したレジ打ち体験や「てまえどりPOP」作りなどを体験し、セブン-イレブンで導入しているサステナビリティについて学びました。

- ☑募集人員 小学4～6年生とその保護者 10組20名
- ☑実施日時 2023年10月28日(土) 10時00分～12時00分
- ☑実施場所 セブン-イレブン博多東比恵3丁目店 2階 会議室(福岡市博多区東比恵)
- ☑参加者数 子ども9名/大人9名 計18名
- ☑協力 株式会社セブン-イレブンジャパン

☑当日スケジュール

- 09:30 福岡市役所集合・出発～バスで移動～
- 10:00 セブン-イレブン東比恵研修室・到着
- ①セブン-イレブンで導入しているサステナビリティについての学習
- ②店舗でのレジ打ち体験 ③店内ポップ作り体験
- 12:00 セブン-イレブン東比恵研修室・出発～バスで移動～
- 12:30 福岡市役所到着・解散

バスツアー



食品ロス対策や創エネ、ペットボトルの回収などセブン-イレブンが取り組む環境配慮経営について、クイズに挑戦しながら楽しく学ぶことができた。接客に必要な「あいさつ・お辞儀・笑顔」について、お手本を参考にしながら実践。大人顔負けの仕草に会場内はあふれんばかりの拍手だった。その後、実際に店舗で使用されているレジを操作したり、「てまえどりPOP」作成にチャレンジ。作成されたPOPは実際に店舗に掲示されるとのことで、みんな一生懸命取り組んでいた。

T09 再生可能エネルギーツアー

太陽光や風力、地熱といった自然界に常に存在する再生可能エネルギー。その再生可能エネルギーについて工作やクイズ、発電体験を通じて楽しく学びました。

- ☑募集人員 小学4～6年生とその保護者 10組20名
- ☑実施日時 2023年10月28日(土) 10時00分～12時00分
- ☑実施場所 KMGビル(福岡市中央区薬院)
- ☑参加者数 子ども7名/大人7名 計14名
- ☑協力 九電みらいエナジー株式会社/九州三菱自動車販売株式会社

☑当日スケジュール

- 09:50 KMGビル・集合
- 10:00 ①再生可能エネルギーの主要な5 電源(太陽光、風力、バイオマス、地熱、水力)の発電所を約8万個のレゴブロックで表現したジオラマクイズを実施
②ペットボトルを再利用した風力発電機の工作
③VRによる潮流発電の世界を体験/自転車発電体験
④停電シミュレーション
- 12:00 KMGビル・解散



再生可能エネルギーについて、スライドやレゴブロックを使ったクイズなどを通して学んだ後は、ペットボトルで作る風力発電を親子で作成した。順番に、自転車での発電体験ブースとVRを使って海の中を探索するブースにて各自体験を行うなど充実した内容だった。その後、停電シミュレーションを行って、停電した際電気自動車がどのような役割を果たすかを学んだ。自転車を漕いで発電した時に、普段かなりのエネルギーを使っていることに気づき、今後節電を意識できるいい経験になったという意見もあった。

T10 油山フィールドワーク体験ツアー

リニューアルした油山でのフィールドワーク。大自然の中で植物や昆虫などの生きものと触れ合いながら環境保全の大切さや生物多様性について学びました。

- ☑募集人員 小学4～6年生とその保護者 5組10名
- ☑実施日時 2023年10月29日(日) 9時30分～14時00分
- ☑実施場所 ABURAYAMA FUKUOKA (福岡市南区柏原)
- ☑参加者数 子ども3名/大人3名 計6名
- ☑協力 ABURAYAMA FUKUOKA

☑当日スケジュール

- 09:30 福岡市役所集合・出発 ~バスで移動~
- 10:00 ABURAYAMA FUKUOKA・到着
①フィールドワーク体験・自然観察
②昼食&自由行動
- 12:00 ABURAYAMA FUKUOKA・出発 ~バスで移動~
- 12:30 福岡市役所到着・解散

バスツアー



フィールドワークに入る前に、木と「出会う」方法を習い実践。同じ種類の木でもそれぞれ個性があることを実感でき、愛着を持つことができた。その後、木の葉や実の特徴などを教わりながら自然遊歩道を散歩。木々の間から太陽の光が差し込むきれいな景色や川に生息する生きものなどの出会いもあり、油山の自然を満喫できたツアーとなった。参加者からは「木や森についての話はとても勉強になった」「自然の大切さをあらためて感じる事ができた」などの声が聞かれた。

W01 こどもエコ・ワークショップ

「冬あたたかい家」をテーマに家模型を作りました。「考え、つくり、発見する」プロセスで、環境問題について考えるきっかけとなりました。

- ☑募集人員 小学4～6年生とその保護者 各回20組40名
- ☑実施日時 2023年10月7日(土)
 - ①10時00分～12時00分(午前の部)
 - ②14時00分～16時00分(午後の部)
- ☑参加者数 ①子ども11名/大人9名 計20名
②子ども12名/大人11名 計23名
- ☑協力 大和ハウス工業株式会社九州支社



家づくりの達人から寒さ対策のクイズを受けたあと、それぞれが考える「エコであたたかい家」を制作した。子どもたちは1時間の制作時間では足りないほど熱心に取り組み、風力発電、北風を遮る壁、屋上緑化や南側に大きな窓を取ったものなど多彩な家を作りあげた。制作後は認定証の授与を受け、一部は工夫した点について発表してもらった。環境について親子で考えるきっかけになった、という声もあった。

W02 エネルギー出前授業

暮らしと地球環境やエネルギーについて、実験を通じて体験しながら、エネルギーに関する知識を身につけました。

- ☑募集人員 小学4～6年生 各回30名
- ☑実施日時 2023年10月7日(土)
 - ①10時00分～10時45分(1回目)
 - ②11時15分～12時00分(2回目)
- ☑参加者数 ①子ども12名/大人7名 計19名
②子ども10名/大人6名 計16名
- ☑協力 九州電力株式会社



第1部は「暮らしとエネルギーを考えよう」、第2部は「暮らしと地球環境を考えよう」という内容で行われた。テーマについてのクイズや補足授業、実験などを行った。クイズは積極的に手を挙げ回答する子どもが多く、とてもにぎやかだった。手回し発電機で電気を作る実験や、水などを使って二酸化炭素の仕組みを知る実験では、積極的に取り組み、成果を発表する様子が見られた。

W03 ごみ削減・オリジナルエコバッグ作り

花王の包装容器に関する取り組みやプラスチックごみの削減について学び、オリジナルエコバッグ作りも行いました。

- ☑募集人員 小学1～6年生とその保護者 各回20組40名
- ☑実施日時 2023年10月7日(土)
 - ①10時00分～11時00分(午前の部)
 - ②13時00分～14時00分(午後の部)
- ☑参加者数 ①子ども12名/大人11名 計23名
②子ども16名/大人16名 計32名
- ☑協力 花王カスタマーマーケティング株式会社



プラごみ削減に向けて、一人ひとりができる取り組み(レジ袋はもらわない、マイボトルを持つ等)や、花王の取り組み(詰め替え用容器やコンパクト化製品の開発等)の紹介があった。講師の方が子どもたちへの質問を適宜交えながら説明をされており、子どもたちも最後まで熱心に講座を聞いていた。その後のエコバッグ作りでは和気あいあいと親子で楽しむ姿が見られた。

環境フェスティバルふくおか2023

■B2ポスター

環境フェスティバルふくおか2023 10/7 SAT 10:00-18:00 入場無料 観覧は自由

01 ソラリアゼファ会場
02 晋園公園会場

ステージイベント
SDGsとアジア太平洋
楽しく知ろう！
SDGsとアジア太平洋
環境フェスティバルふくおか2023では、楽しく環境を学ぶ「ツアー」「ワークショップ」を行います。

■A4チラシ(両面)

環境フェスティバルふくおか2023 10/7 SAT 10:00-18:00 入場無料 観覧は自由

01 ソラリアゼファ会場
02 晋園公園会場
03 福岡三越ライオン広場

ステージイベント
SDGsとアジア太平洋
楽しく知ろう！
SDGsとアジア太平洋

■ツアー・ワークショップ申し込み用HP

環境フェスティバルふくおか2023では、楽しく環境を学ぶ「ツアー」「ワークショップ」を行います。

参加ご希望の方は、下記の内容をお読みいただきお申し込みください。

「+」をクリックすると詳細をご覧いただけます。

申込締切：9/25(月) 必須

※お申し込み多数の場合は抽選になります
※9/29(金)までに当選者のお通知いたします

参加費：無料

すべてのお申し込みは終了しました。

■公式X(旧Twitter)

環境フェスティバルふくおか【公式】
227件のポスト

ENVIRONMENTAL FESTIVAL FUKUOKA 2023
環境フェスティバルふくおか2023 10/7 SAT 10:00-18:00 入場無料 観覧は自由

2023年開催決定！なんと今回は3ヶ所で開催します！今年も環境を楽しく学べて体験できるコンテンツがいっぱい！#SDGs #脱炭素 #環境フェスティバル

福岡市 kankyo-fukuoka2023.com
2021年7月からTwitterを利用しています

56 フォロワー 1,425 フォロフ

■天神サイト

TENJIN SITE

環境フェスティバルふくおか2023

今年で20回目！「環境フェスティバルふくおか2023」開催

■福岡市政だより

福岡市政だより

環境に優しいライフスタイルを
環境フェスティバルふくおか

本市は、環境問題について深く学び、行動を変えようとしてもらっており、「環境フェスティバルふくおか」を開催します。20周年となる今回は、

多様な世代の環境問題について、さまざまな視点から学び、体験イベントを実施します。

【開催イベント】
＜日時＞10月7日(土)午前10時から午後5時
＜料金＞無料

【参加方法】
①ソラリアゼファ(会場第二丁目)
福岡市ソラリアゼファから徒歩5分。3Dデジタル多言語表示の案内板、環境問題について見えるポイントです。

【開催イベント】
10月7日(土)午前11時から15時で「子どもエコワークショップ」や、14日(土)午前10時から午後5時で「日本緑十字バザア環境体験ツアー」など、13種類の体験イベントを実施します。

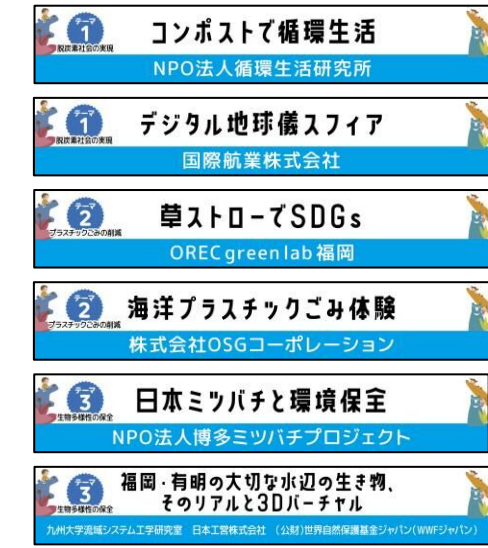
■ステージパネル(W2700×H2400)



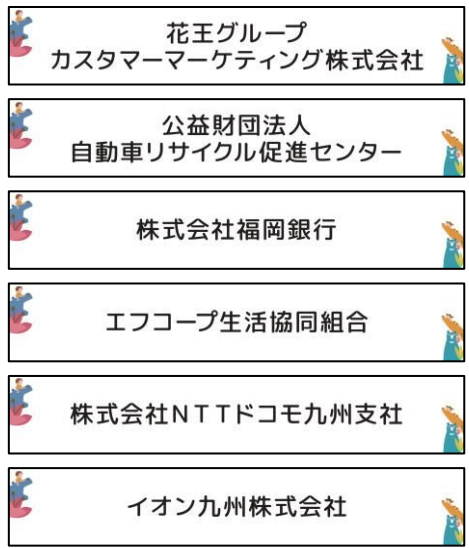
■ステージタイトルサイン(W1200×H200)



■コンセプトエリア社名板(W1200×H200)



■協賛企業エリア社名板(W1200×H200)



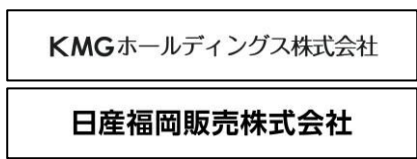
■インフォメーション(W1500×H200)



■アンケート案内パネル(W450×H600)



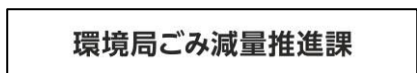
■次世代自動車社名板



■次世代自動車本部・社名板



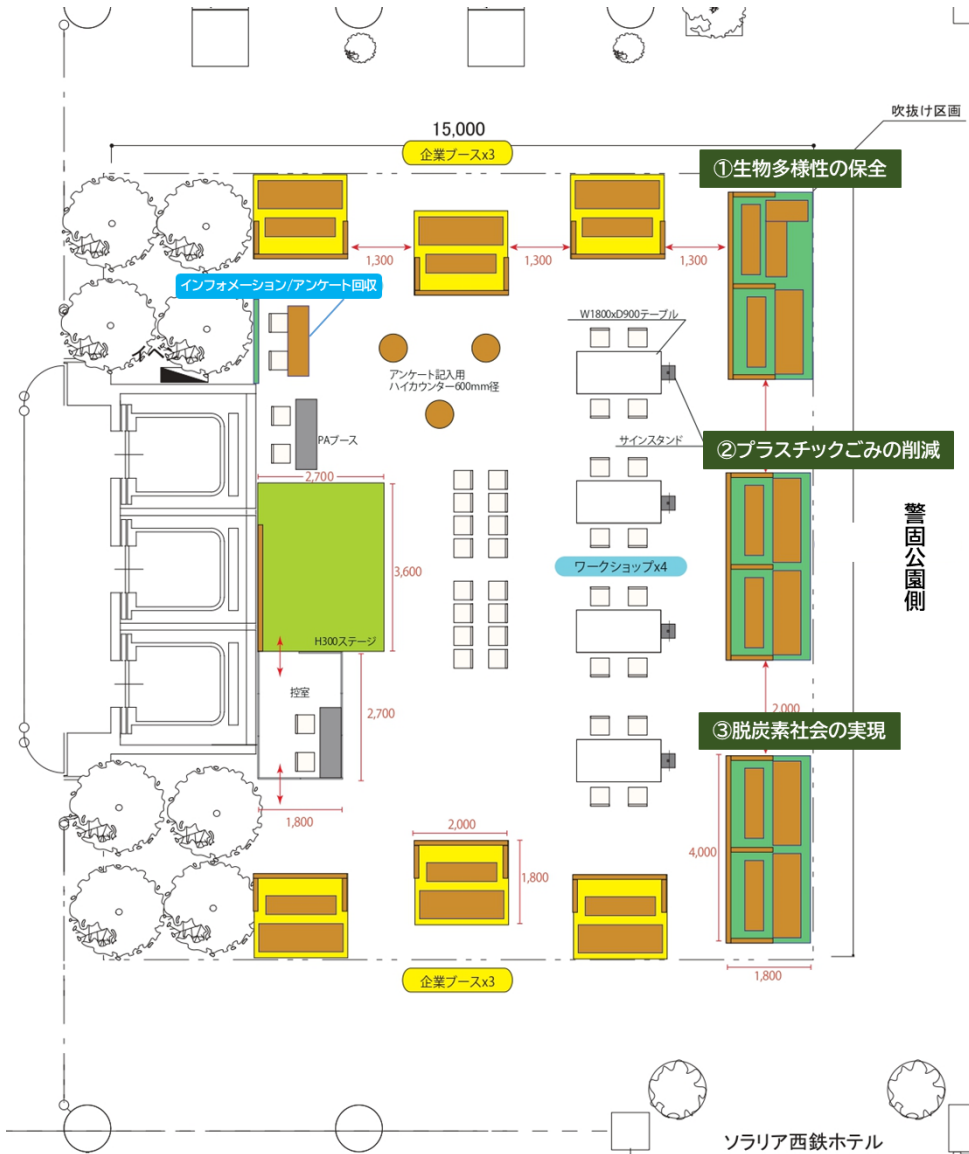
■環境美化啓発ブース社名板



■ミニワークショップサイン(W450×H600)



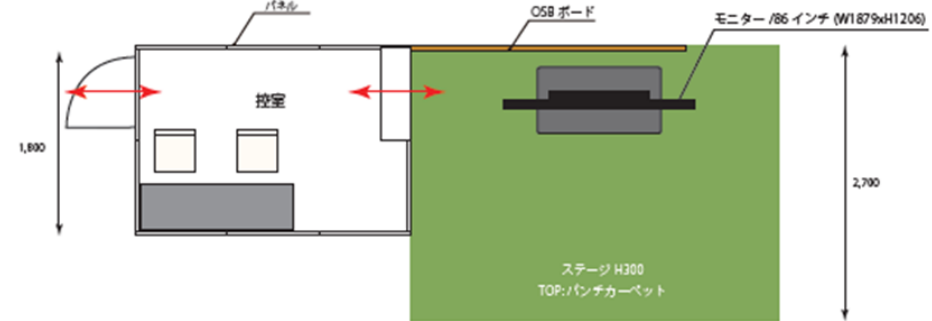
■ 全体図



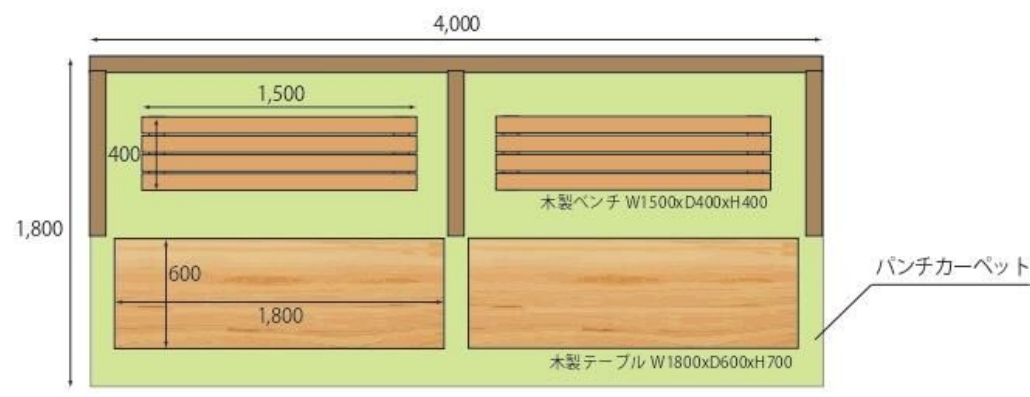
■ ステージ立面図



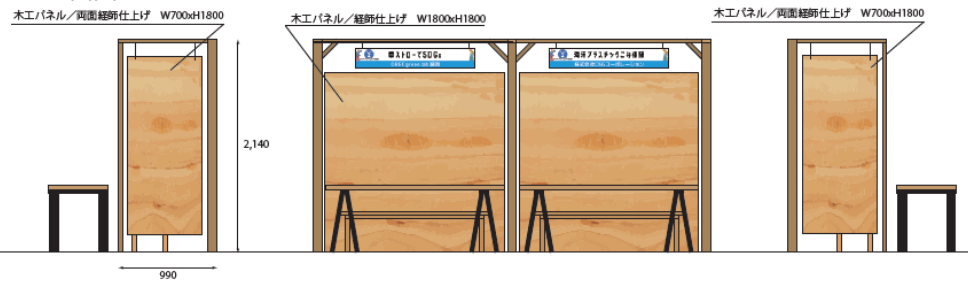
■ ステージ平面図



■平面図



■立面図



■コンセプトエリアブース背面パネル

「脱炭素社会」ってなに？

私たちの便利な生活は地球温暖化の原因であるCO₂の排出量を増やしています。CO₂の排出量を減らすためには、省エネに取り組むことや、CO₂を吸収する森林などを保全などが大切です。こういった取り組みを進め、安全で便利な暮らしを維持・発展できる社会を「脱炭素社会」とします。

まずは省エネや再生可能エネルギーを活用することで二酸化炭素の排出量を減らしましょう！

そもそも発生してしまつたCO₂を吸収するには森林や海洋など自然の力で吸収してもらいましょう！

排出量 = 吸収量

実質ゼロ
カーボンニュートラル

脱炭素社会の実現に向けてわたしたちにできること

- ご風呂は間隔を開けずに入る
- 移動の際は徒歩もしくは自転車や公共交通機関を使う
- 室内に太陽光を取り入れ、使わない電気は消す
- 食事はなるべく残さないようにする

ほかにも…
エコマークなどの環境ラベルがついた商品を選ぶ
宅配サービスを1回で受け取る
省エネ家電に買い替える
いま持っている服やものを長く大切に使う

脱炭素社会の実現

「プラスチックごみ」は何が問題？

プラスチックごみが雨や風によって河川に入り海に流れ出ると、清掃活動では回収しきれない場所まで流れ着き海の環境を汚したり、5mm以下の小さな「マイクロプラスチック」となり海の生き物がエサと間違えて食べてしまうことで生態系を破壊してしまいます。

このままでは2050年頃には海のプラスチックゴミの量は想像以上に多量かまっています！

まずはレジ袋やストローなど使い捨てのプラスチックの削減を心がけましょう！

プラスチックごみの削減に向けてわたしたちにできること

- マイバッグ・マイボトルを持ち歩く
- 詰め替えボトルなど繰り返し使えるものを選ぶ
- 使用済みトレイは捨てずに回収ボックスに持ち込む
- レジ袋や使い捨てのスプーンはもらわない

ほかにも…
スーパーなどで食品小分け用のポリ袋の使用を減らす
再生プラスチック製品を使用する
食品の保存はふた付き容器を使い、できるだけラップは使用しない
屋外で出たごみは家に持ち帰って処分する

プラスチックごみの削減

「プラスチックごみ」は何が問題？

プラスチックごみが雨や風によって河川に入り海に流れ出ると、清掃活動では回収しきれない場所まで流れ着き海の環境を汚したり、5mm以下の小さな「マイクロプラスチック」となり海の生き物がエサと間違えて食べてしまうことで生態系を破壊してしまいます。

このままでは2050年頃には海のプラスチックゴミの量は想像以上に多量かまっています！

まずはレジ袋やストローなど使い捨てのプラスチックの削減を心がけましょう！

プラスチックごみの削減に向けてわたしたちにできること

- マイバッグ・マイボトルを持ち歩く
- 詰め替えボトルなど繰り返し使えるものを選ぶ
- 使用済みトレイは捨てずに回収ボックスに持ち込む
- レジ袋や使い捨てのスプーンはもらわない

ほかにも…
スーパーなどで食品小分け用のポリ袋の使用を減らす
再生プラスチック製品を使用する
食品の保存はふた付き容器を使い、できるだけラップは使用しない
屋外で出たごみは家に持ち帰って処分する

「生物多様性」ってなに？

たくさんの種類の生き物が複雑につながりあいがら様々な環境に合わせて生活していることを、生物多様性と呼びます。食べ物やエネルギー、様々な製品の原料など、生活に欠かすことのできないものすべてが生物多様性がもたらす自然の恵みです。

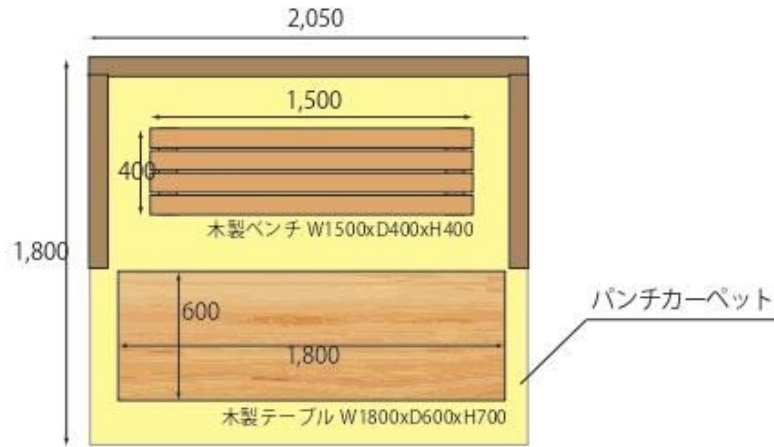
生物多様性の保全に向けてわたしたちにできること

- 地元で採れた食材を食べ、旬の食材を味わう
- 動物園、水族館などを訪れ、自然や生き物に触れる
- エコラベルなどがついた環境にやさしい商品を選ぶ
- 生き物の観察会などの活動に参加する

ほかにも…
ペットは最後まで責任をもって飼う
自然のすばらしさなどを感じて家族や友達に伝える
野生生物にエサをあげない
地球温暖化防止に貢献する行動をとる

生物多様性の保全

■平面図



■立面図



■協賛企業エリアブース側面・背面パネル

地球環境の深刻な危機

森林の消失/環境の減少 → 気候変動 → 気象災害の激化・海面上昇 など

化石燃料の燃焼/多量の廃棄物排出 → 気候変動 → 気象災害の激化・海面上昇 など

気候変動による不安定・予測不能な気象の発生/異常気象の頻発 → 気候変動 → 気象災害の激化・海面上昇 など

自然の回復力の減少に伴うインフラ崩壊の危機 → 気候変動 → 気象災害の激化・海面上昇 など

生物多様性の損失 → 気候変動 → 気象災害の激化・海面上昇 など

大気汚染・水質汚染・土壌汚染 → 気候変動 → 気象災害の激化・海面上昇 など

自然の回復力の減少に伴うインフラ崩壊の危機 → 気候変動 → 気象災害の激化・海面上昇 など

生物多様性の損失 → 気候変動 → 気象災害の激化・海面上昇 など

大気汚染・水質汚染・土壌汚染 → 気候変動 → 気象災害の激化・海面上昇 など

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

① デコ活 (DIY) 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

② デコ活 (DIY) 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

③ デコ活 (DIY) 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

④ デコ活 (DIY) 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

⑤ デコ活 (DIY) 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

⑥ デコ活 (DIY) 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

⑦ デコ活 (DIY) 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

⑧ デコ活 (DIY) 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

⑨ デコ活 (DIY) 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

⑩ デコ活 (DIY) 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後

QRコード

あなたはどっちの未来を望みますか？

今までと変わらない生活を続ける

無理なく自分ができる「環境にやさしいこと」を始める

私たちのこの10年間に行う選択は、現在から数千年先まで影響する！

美しいふるさとをもっと自慢しよう！

美しいふるさとをもっと自慢しよう！



アンケートは啓発・体験イベントで実施。また今年度は大人向けと子ども向けの2種類のアンケートを作成した。啓発イベントでの回答者には下記ノベルティをプレゼントした。

☑アンケート回収方法

回答方法:①紙で回答 ②デジタルで回答

実施場所:ソラリアゼファ/ライオン広場/警固公園等



☑アンケートノベルティ(計200個)

- ①バンブーファイバー二重構造マグボトル×50個
- ②バンブーファイバーカトラリー3点セット×50個
- ③シリコンリユースラップ×40個
- ④リル 再生PETブランケット×30個
- ⑤リル バンブーレーヨンハンカチタオル×30個



フォローアップアンケートの実施

イベント参加者(アンケート回答者)に対しフォローアップアンケートを実施。イベント参加前と後での環境への意識の変化を調査した。

☑回答方法:デジタル回答のみ

☑実施方法:メールでデジタルアンケートを送付

☑実施時期:11月22日~12月6日

☑賞品

1等 泊まれる公園 INN THE PARK 福岡 ペア宿泊券

2等 SPACECOOL日傘

3等 大容量ソーラーモバイルバッテリー

4等 デジタルクーポン3000円分

5等 デジタルクーポン1000円分

※総勢100名にプレゼント



環境フェスティバルふくおか2023アンケートにご協力いただいた皆様へ

フォローアップアンケートのお知らせ

11月下旬頃、ご登録いただいたメールアドレス宛にアンケートフォームをお送りいたします。

回答いただいた方の中から抽選で総勢100名様に豪華賞品をプレゼント!

1等 泊まれる公園 INN THE PARK 福岡 ペア宿泊券 (大人2名1泊2食付き)



~海の中道国立公園内、博多湾を望むリゾートグランピング施設~
INN THE PARK 福岡は、博多の対岸に広がる新しい宿泊施設です。
都会の夜景と自然の空気と、不思議な体験とが交差する公園がその舞台です。

2等 世界最高レベルの放射冷却性能を持ち、ゼロエネルギーで外気より低温にする新素材 SPACECOOL日傘

3等 太陽光で充電できる! 災害時にも大活躍!! 大容量ソーラーモバイルバッテリー

4等デジタルクーポン3000円分

5等デジタルクーポン1000円分

※フォローアップアンケートの回答にはメールアドレスが必要です。
※賞品は本アンケートにお答えいただいた方で、さらにフォローアップアンケートへご回答いただいた方が対象となります。
※フォローアップアンケートは11月下旬頃、ご登録いただいたメールアドレス宛にお送りします。

☑対象者 啓発イベント・体験イベントに参加した方
 ☑対象年齢 小学1～中学3年生
 ☑回答人数 177名

設問1.住んでるところ

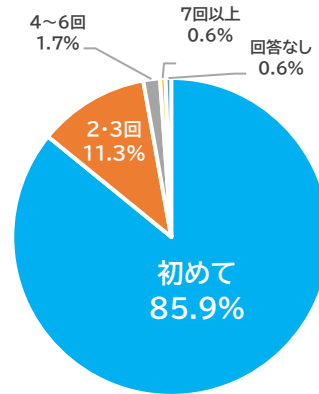
東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	市外	県外
19.2%	9.0%	11.3%	26.0%	7.9%	15.8%	4.5%	5.6%	0.6%

設問2.これまで「環境フェスティバルふくおか」に来た(参加した)ことはありますか。

初めて	2・3回	4～6回	7回以上	回答なし
85.9%	11.3%	1.7%	0.6%	0.6%

※2022年度は「初めて」と回答した方は大人・子ども合わせて65.4%

初めて参加する子どもが85.9%とかなり高い割合となった。一般往来の方が多き場所で開催したこと、またツアーやワークショップ等を多数開催したことにより、初参加の子どもの割合を増やすことができたと考えられる。



設問3.何を見て(聞いて)「環境フェスティバルふくおか2023」を知りましたか。(いくつでも)

市政だより	ホームページ	ポスター・チラシ	その他
16.9%	13.0%	59.9%	11.9%

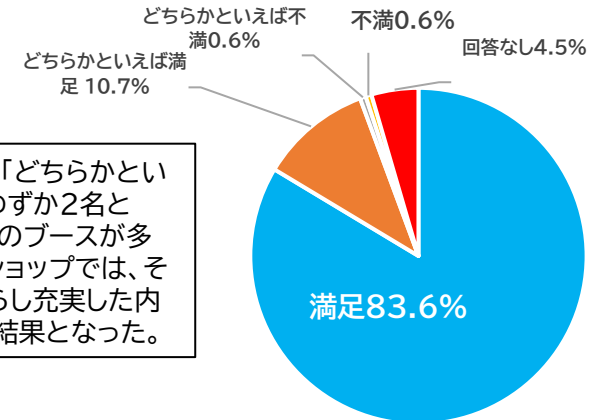
「その他」を選択された方は下記にご記入ください。

- ・知人(友人)の紹介
- ・待ち合わせ場所だったから 他

設問4.「環境フェスティバルふくおか2023」に来て(参加して)どうでしたか。

満足(楽しかった)	どちらかといえば満足(楽しかった)	どちらかといえば不満(おもしろくなかった)	不満(おもしろくなかった)	回答なし
83.6%	10.7%	0.6%	0.6%	4.5%

95%の子どもが「満足」と回答。「どちらかといえば不満」「不満」と答えた人はわずか2名となった。啓発イベントでは体験型のブースが多かったこと、またツアー・ワークショップでは、それぞれの企業・団体が工夫を凝らし充実した内容となった事から満足度の高い結果となった。



設問5.「4」の質問でそう答えた理由を教えてください。(自由回答)

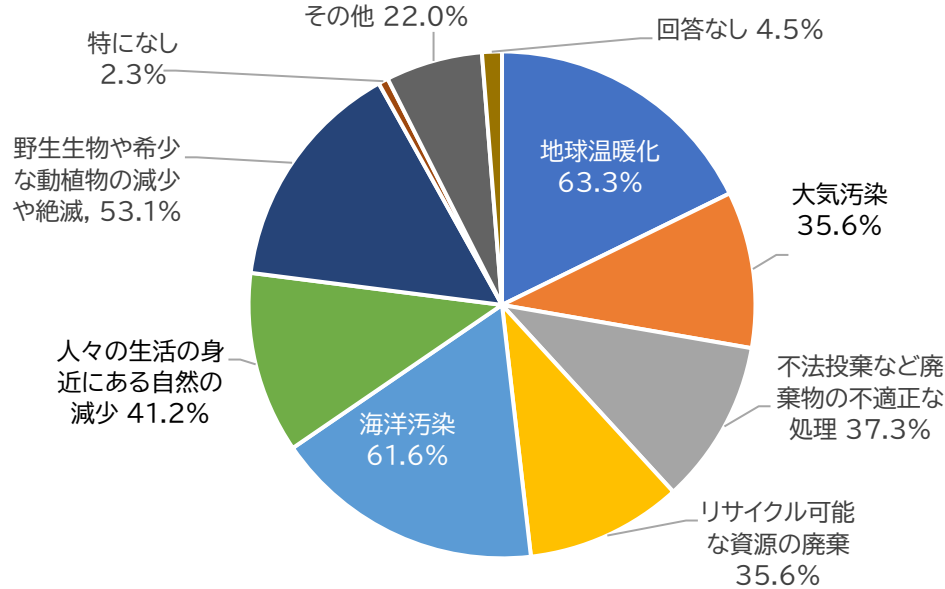
- ・あまり体験できないことが体験できた
- ・いろいろなイベントがあって楽しかった
- ・説明がわかりやすくて理解できた
- ・環境についてこれからどうしたらいいか分かった
- ・普段見れないところを見れて面白かった 他

設問6. あなたの身のまわりの環境についてどう思いますか。

良くなっている	やや良くなっている	やや悪くなっている	悪くなっている	回答なし
22.0%	37.9%	22.0%	10.2%	7.9%

設問7.今、どのような環境問題が気になりますか。(いくつでも)

地球温暖化 (地球の気温が上昇すること)	大気汚染 (空気が汚れること)	不法投棄など廃棄物の不適正な処理 (禁止された場所にゴミを捨てること)	リサイクル可能な資源の廃棄 (リサイクルができるものをゴミとして捨てること)	海洋汚染 (海の環境が汚れること)
63.3%	35.6%	37.3%	35.6%	61.6%
人々の生活の身近にある自然の減少 (木や草花などが自分の周りから減ること)	野生生物や希少な動植物の減少や絶滅 (自然にある植物や動物などの数が減ったり、いなくなったりすること)	特になし	その他	回答なし
41.2%	53.1%	2.3%	22.0%	4.5%



「その他」を選択された方は下記にご記入ください

- 動物(野生動物:熊など)が街に降りてきているということ(テレビでみた)
- 異常気象、オゾン層の破壊

ここ数年の夏の暑さや、ゲリラ豪雨など、ニュース等で耳にする機会が多い「地球温暖化」に対して関心の高さが伺える。そのほか海洋汚染や自然破壊、動物の絶滅など、身近に感じやすい問題が高い割合を占めた。

設問8. 環境問題についてどこで見たり聞いたりしますか。(いくつでも)

テレビ・ラジオから	新聞・雑誌から	市や国が配るチラシやパンフレットなどから	企業や市民団体などが配るチラシやパンフレットなどから
68.4%	19.8%	15.8%	5.1%
家族や友達 知り合いから	市・国や企業などがおこなうイベントなどに参加して	その他	回答なし
13.6%	9.6%	21.5%	4.5%

「その他」と記載された方は下記にご記入ください。

- 学校で調べて学習している
- お母さんのインスタグラムで 他

環境問題についての情報取得はテレビ・ラジオからの情報が多数を占めている。「その他」と回答した子どもの多くは学校での授業等だった。

設問9.「環境フェスティバルふくおか2023」に来て(参加して)、前よりも環境問題のことをもっと知りたいと思いましたか。

思った	少し思った	どちらかと言うと思わなかった	前と同じ	回答なし
54.8%	35.6%	2.3%	2.3%	5.1%

設問10.「9」の質問でそう答えた理由を教えてください。

「思った」「少し思った」と答えた子どもの回答理由

- 他にはどんな環境問題があるか知りたくなったから
- プラスチックごみなど知らないことが多かったから
- いろいろな環境問題を教えてもらったから
- 今まで知らないことが分かって興味が出たから
- 周りも頑張ってるので僕も頑張りたいと思ったから 他

「どちらかというと思わなかった」「前と同じ」と答えた子どもの回答理由

- むずかしかった
- 今までも思っていたから

設問11.裏面に書かれている「わたしたちにできること」を読んでわたしたちにできる「環境にやさしい行動」がわかりましたか。

わかった	少しわかった	どちらかと言うと わからなかった	わからなかった	回答なし
58.2%	27.1%	2.3%	2.3%	10.2%

設問12.「環境フェスティバルふくおか2023」に来て(参加して)、前よりも節電など「環境にやさしい行動」をやってみようと思いませんか。

そう思った	少し思った	どちらかと言うと 思わなかった	思わなかった	回答なし
55.9%	31.1%	1.7%	1.1%	10.2%

設問13.「12」の質問でそう答えた理由を教えてください。

「そう思った」「少し思った」と答えた子どもの回答理由

- 家でできることがあったから
- 環境にやさしい行動をやっていかないと生き物がいなくなってしまうかもしれないから
- 50年後に資源がなくなると困るため少しでも長く資源を使いたいから
- 少しの電力を生むのも大変だと思ったから
- 環境問題が深刻になっていることを知ったから
- いろんな行動をしている人がいることを知ったから
- 自分たちの行動を見直すだけで少しでもアマモなど、海に住む生き物を助けることができると思ったから 他

「どちらかというと思わなかった」「思わなかった」と答えた子どもの回答理由

- むずかしいから
- よくわからないから

設問14.学校や住んでいるところで環境を守る活動を増やすために、福岡市役所や区役所で働く人たちにやってほしいことはありますか。

- 花などの植物を植えてほしい
- 海のごみをいっしょにごみひろい
- 環境を守る活動を増やしてほしい
- リサイクル品を使ったお祭りやイベント
- ペットボトルのキャップは別に回収してほしい
- リサイクルボックスを増やしてほしい
- 水素車を増やしてほしい
- 苗木を植えたりするイベント 他

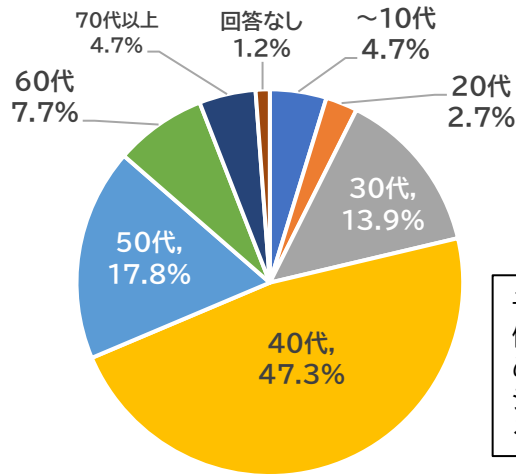
設問15.あなたが大人になったとき、福岡市の環境はどのようになっていれればいいと思いますか。

- ごみが少なくなってきれいな街になってほしい
- 公園がたくさんあって木や花にかこまれている福岡市になってほしい
- 海がきれいでリサイクルがされているようになってほしいと思う
- 自然エネルギーだけで生きていける世の中になれほしいと思う
- 森が多くて生物と共生できる場所
- もっと涼しくなって外で遊べるようになりたい
- CO2の膜が薄くなってたくさん家で電気自動車が使われていたらいいと思う 他

対象者 啓発イベント・体験イベントに参加した方
対象年齢 高校生以上
回答人数 338名

設問1. 年齢

~10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	回答なし
4.7%	2.7%	13.9%	47.3%	17.8%	7.7%	4.7%	1.2%



設問2. お住まい

東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	市外	県外
13.6%	11.5%	18.3%	18.0%	6.5%	15.1%	7.4%	8.6%	0.9%

設問3. これまで「環境フェスティバルふくおか」に来場(参加)されたことはありますか。

初めて	2・3回	4~6回	7回以上	回答なし
70.4%	18.3%	4.1%	6.2%	0.9%

子ども同様、大人も「初めて」と答えた方が昨年より増えている。

※2022年度は「初めて」と回答した方は大人・子ども合わせて65.4%

設問4. 「環境フェスティバルふくおか2023」に来場(参加)されたきっかけは何ですか。(いくつでも)

市政だより	ホームページ	SNS	ポスター・チラシ	その他
27.5%	10.9%	5.9%	40.5%	23.7%

「その他」と選択された方は下記にご記入ください。

- 歩いてたら見かけたため
- 別のイベントに来て
- 福岡市エコアクションのInstagram 他

設問5. 「環境フェスティバルふくおか2023」の総合的な満足度はいかがでしたか。

満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	回答なし
63.9%	32.8%	2.4%	0.0%	0.9%

※97%の方が概ね満足と回答

設問6. 「5」の質問で回答された理由を教えてください。(記入)

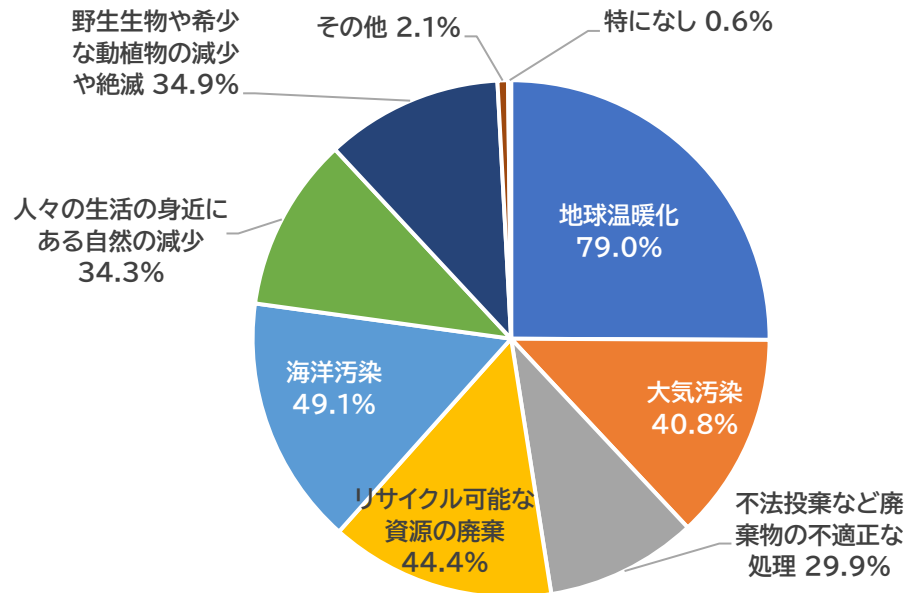
- 色々な体験ブースやプレゼントが嬉しかった
- 自分の知らない環境への問題、解決を知ることができた
- ソラリアや警固公園など、場所が良い
- 環境について子供と考える時間ができて良かった
- 企業さんが行ってるツアーが充実していた
- 屋外と室内の連帯感が感じられない
- 少し狭かった 他

設問7.あなたの身の回りの環境についてどのように感じていますか。

良くなっている	やや良くなっている	やや悪化している	悪化している	回答なし
12.1%	49.4%	28.4%	8.0%	2.1%

設問8.今、どのような環境問題が気になりますか。(いくつでも)

地球温暖化	大気汚染	不法投棄など廃棄物の不適正な処理	リサイクル可能な資源の廃棄	海洋汚染
79.0%	40.8%	29.9%	44.4%	49.1%
人々の生活の身近にある自然の減少	野生生物や希少な動植物の減少や絶滅	その他	特になし	回答なし
34.3%	34.9%	2.1%	0.6%	0%



「その他」を選択された方は下記にご記入ください

- マイクロプラスチック・海水温の上昇 他

設問9. 環境問題等に関する情報はどのように入手していますか。(いくつでも)

テレビ・ラジオから	新聞・雑誌から	行政の広報誌やパンフレットから	企業や市民団体などの広報誌やパンフレットから	家族や友人・知人から
72.5%	38.8%	32.2%	23.7%	8.3%
SNS(具体的に)から	行政や企業等が実施するイベント等への参加を通じて	その他	回答なし	
17.5%	20.4%	3.8%	1.2%	

「SNS」と記載された方は具体的に記入ください。

- TikTok(ゴミ投機など)
- X(旧Twitter)
- Facebookなどで様々な環境団体をフォローしている 他

「その他」と記載された方は下記にご記入ください。

- 他の環境団体との連携■インターネット■web■ネットニュース■自分が生態学者■会社で

設問10.「環境フェスティバルふくおか2023」に来場(参加)して、以前よりも環境問題等への関心が高まりましたか。

高まった	やや高まった	どちらかと言うと高まらなかった	何も変わらなかった	回答なし
56.2%	37.3%	0.6%	3.3%	2.7%

設問11.「10」の質問に回答された理由を教えてください。(記入)

「高まった」「やや高まった」と答えた人の回答理由

- イベントをする事で意識が高まった
- 環境について真剣に考える時間を持った
- 電気などを使わずにどう快適に過ごせるか考えるきっかけになった
- 元々環境のことに興味があったが詳しく教えて頂いたことによりもっと深まったから 他

「どちらかと言うと高まらなかった」「何も変わらなかった」と答えた人の回答理由

- そもそも関心が高い
- 知っていることが主だった

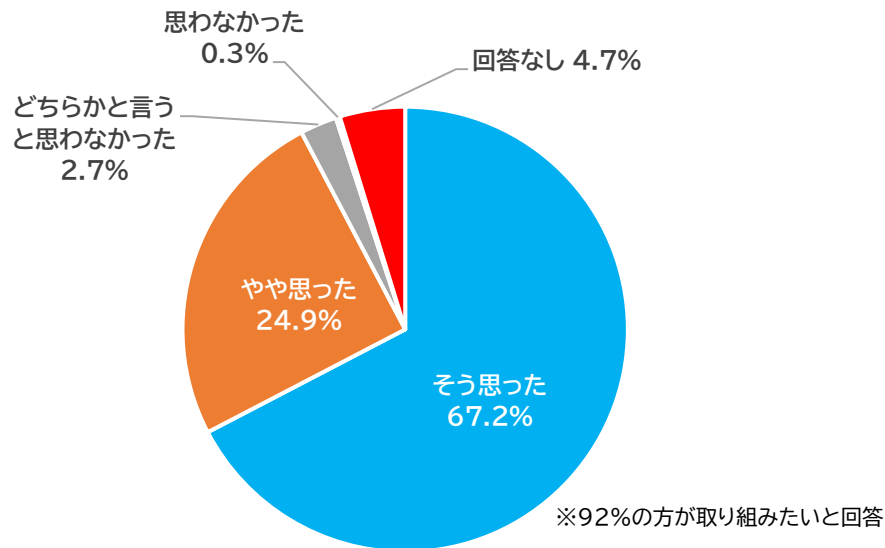
94%の方が概ね関心が高まったと回答。「高まらなかった」「変わらなかった」と回答した方のほとんどが「もともと関心があったため」という回答理由だった。今回のイベントをきっかけに改めて環境に関する意識を高めることができたといえる。

設問12. 「環境フェスティバルふくおか2023」の会場内に掲示した(ツアー等終了後に配布した)「環境にやさしい行動」についてのヒントは参考になりましたか。

参考になった	やや参考になった	どちらかと言うと参考にならなかった	参考にならなかった	回答なし
57.7%	33.4%	1.5%	1.8%	5.6%

設問13. 「環境フェスティバルふくおか2023」に来場(参加)して、以前よりも節電など「環境にやさしい行動」に取り組みたいと思いましたが。

そう思った	やや思った	どちらかと言うと思わなかった	思わなかった	回答なし
67.2%	24.9%	2.7%	0.3%	4.7%



設問14. 「13」の質問に回答された理由を教えてください。(記入)

- 多くの企業や団体の活動を見る事ができた
 - できることが私にもあることがわかった
 - 小さなことでも取り組みになることがわかったので
 - このようなイベントに参加することによりまた気持ちが高まった
- 他

設問15. 地域での環境学習や環境保全活動をより充実させるために、福岡市(行政)に取り組んでほしいことがあれば自由にご記入ください。(記入)

- 地域でゴミを減らすコンポストの支援を行って戴きたい
 - 洗剤など代用出来る米ぬか酵素作りなどを取り組んで欲しい
 - 環境に関する様々な体験プログラムを作ってほしい
 - 夏休みを利用して親子の環境ツアーなど日数を増やしてほしい
 - 分別、生ごみの水切りといったすぐできることの啓発
 - 福岡市のシンボル花・フヨウなど丈夫な樹木を公園に植える
 - 不法投棄を減らすためごみ捨ても方法を簡単にしてほしい(特定の曜日だけでなくお金を払えばいつでも捨てられるようにするなど)
 - プラごみを燃えるゴミにするのはもったいないので、リサイクルできるようにしてほしい
- 他

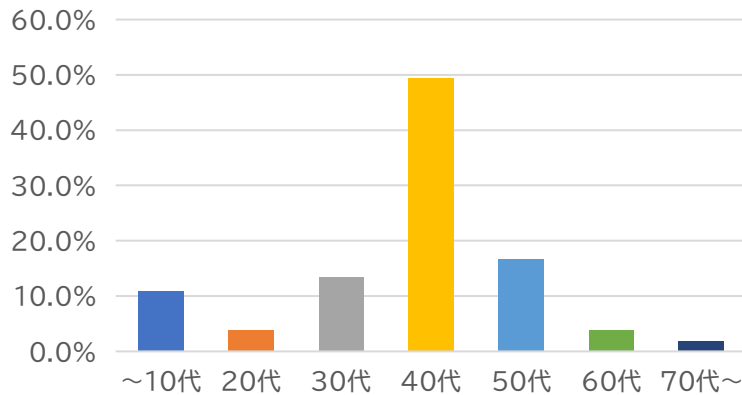
設問16. 2040年の福岡市の環境はどのようになってほしいですか。あなたの理想の「福岡市の将来のまちの姿」について自由にご記入ください。(記入)

- みんなが環境について考える街
 - 今よりもさらに緑豊かで、水がきれいな街になってほしい
 - 原発に頼らないクリーンエネルギーが発達してる街
 - 経済都市としてのみならず環境都市として、住みたい街として名前があがるような都市であってほしい
 - 自然と都市がバランスよく共存する街であって欲しい
 - 循環型社会の確立、民間企業の活用・環境問題などの話題が特に上がらないような社会になってほしい
 - 都市と自然がうまく調和した状態
 - ガスやガソリン等一切使わない「電気の街」
- 他

- ☑対象者 啓発イベント・体験イベントに参加した方のうち、フォローアップアンケートの送付を承諾してくれた方
- ☑回答期間 2023年11月22日～2023年12月6日
- ☑送付人数 297名(うちメール不達17名)
- ☑回答人数 156名

設問1. 年齢

～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～
10.9%	3.8%	13.5%	49.4%	16.7%	3.8%	1.9%

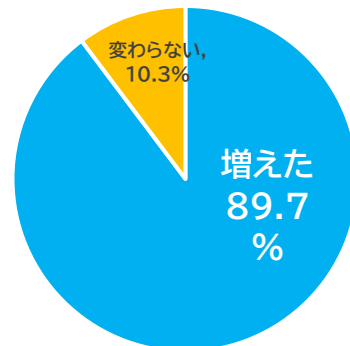


※ツアーやワークショップなど、親子参加が多かったため、子育て世代の40代の回答数が多いと考えらる。

設問2. 「環境フェスティバルふくおか2023」への来場(参加)をきっかけに環境問題等について考えることが増えましたか。

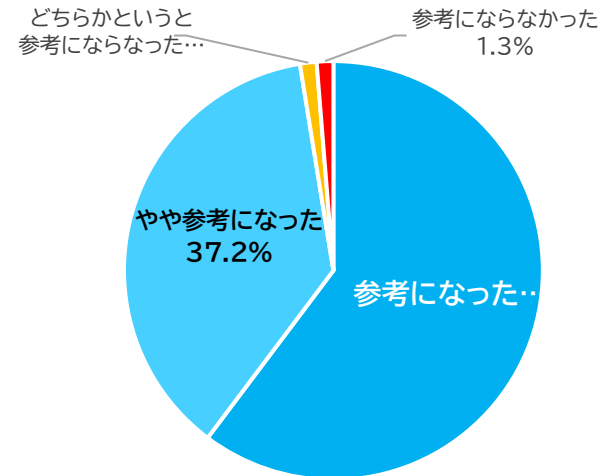
増えた	変わらない
89.7%	10.3%

約9割の方が「増えた」と回答イベントへ参加したことにより、環境問題への意識向上につながったと考えられる。



設問3. 「環境フェスティバルふくおか2023」の会場内に掲示した(ツアー等終了後に配布した)「環境にやさしい行動」についてのヒントは参考になりましたか。

参考になった	やや参考になった	どちらかという参考にならなかった	参考にならなかった
60.3%	37.2%	1.3%	1.3%



設問4. 「環境フェスティバルふくおか2023」への来場(参加)をきっかけに新たに始めた「環境にやさしい行動」はありますか。

ある	ない
78.8%	21.2%

約8割の人が、イベントに参加したことにより、意識が変わっただけでなく**具体的に行動に移している**と回答した。

「4」の質問で「ある」と回答した方にお尋ねします。具体的にどのような行動を実践しているのか教えてください。(記入)

- 商品を購入する際、過剰包装をお断りしてゴミを出さないよう意識している
- エコクーポンでトイレトーパーをもらってから、トイレトーパーは芯なしを選ぶようになった
- 子供が自作したエコバッグを持っておつかいへ行くようになった
- 木を植える運動に参加した
- ダンボールコンポストを始めた
- 海洋ゴミについて考えるようになり、人工芝のチップが海岸に流れ着いていることを知り、我が家で検討していた人工芝の購入は見送ることになった
- 今までは可燃ごみにしていた資源ごみ(雑がみ)も分別するようになった
- プラスチック製品の捨て方に気をつける
- 野菜のヘタなど、なるべく小さめに切り出すゴミを少なくする工夫をして調理をするようになった
- 節水できるシャワーヘッドに交換した
- 寒い時に暖房をすぐに入らずに家でも靴下やネックウォーマーを着用するようになった
- 食器の汚れは拭き取ってから洗い、排水を汚さないよう気をつけるようになった
- 古いプラスチック洗濯ばさみをアルミの物に変えた
- 物を購入するときに、それは本当に必要なものなのかを考えるようになった
- 市政だよりなどで環境問題に関する記事やイベントに、さらに関心を持つようになった
- 飲食店で食べ残しを出さない為に、一度で注文する量を抑える様になった
- 発電などについての記事やニュースがあると、興味を持って見るようになった
- 毎日の出来事の中から環境に結び付けて、親子で話をするようになった
- 買い物の際にどちらが地球にいいか、生産者にいいか子供と一緒に考えて買うようになった
- こどもがリサイクルの表示を気にするようになり、分別するようになった
- ガスや電気を使う時間帯を考えたり、給湯温度の設定を下げたりした
- 国際認証ラベル商品を探すきっかけになった
- 地産地消を心がけるようになった
- 自転車や徒歩で行ける所は自動車をつかわない 他

それぞれのご家庭でいろいろな工夫をしながら、環境にやさしい行動を心がけていることが伺える。また「子どもと話す機会が増えた」「子どもが積極的になった」など、親子で取り組むでるといった意見も多かった。イベントに参加することで、より具体的な行動指針を示すことができたと思われる。

「4」の質問で「ない」と回答した方にお尋ねします。その理由を教えてください。(記入)

- 面倒くささが勝ってしまう
 - 行動の実践までになっていない(今回は知識の機会となった)
 - 今のところはまだないが、今後、電気自動車の購入を検討している
 - 子育てで考える余裕なし
 - 具体的にどういった行動をすればいいかわからないため
 - 今できることは既実践しているから 他
- ※「ない」と答えた方の理由の約半数は「すでに実践している」というものだった。

設問7.「環境にやさしい行動」を実践及び継続するための良いアイデアがあれば自由にご記入ください。(記入)

- エコファミアプリを初めて知り、楽しみながら環境について考えることが増えた。認知度があまり高くないように感じるので、こういうアプリなどあれば優しい行動が増えそう
- 子供が夢の商店街に参加して、使わなくなったおもちゃ類を販売して、買ってくれたお客さんの喜ぶ顔を見てとても嬉しかった
- リサイクルポイントを貯めて行くシステムがあれば楽しみながら出来るような気がする
- フードロス対策として市がある程度まとめられるようなアプリなどを開発
- まずは知ることからだと感じたので、SNSでの発信やメディアの特集などで多くの人の目に触れるようにすると、意識も高まると思う
- 子供が小さい時から啓蒙を続けること
- 日々、未来の地球をイメージする
- 環境問題を知るためのワークショップやイベントを積極的に開催する
- 今住んでる地域はコロナ禍になって、廃品回収の古着回収が無くなったのでまた復活して欲しい
- 簡単にできそうなイメージ映像などが動画として流れていたら、無意識に目にする機会が増えて自然に行動に繋がらそう
- 外国人向けに入国の時でも勉強できる機会を与えてほしい(海外の方からのご意見)
- 子どもでもできるエコポイントなどがあれば良いと思う
- エシカル消費などの視点で商品を選ぶと思った時、食料品とか紙製品には認証マークがついていたりするけど、衣料品にはそういうものがないような気がするので、衣料品にもなにかマークがあるといいのと思う 他